地域公共交通シンポジウムin十勝

十勝バスが考える真の生活MaaS



令和4年2月14日(月) 十勝バス株式会社 事業本部長 長沢 敏彦

(1)会社概要

* 設 立 大正15年 (1926年)

* 資 本 金 6,000万円

* 従業員数 250名

* 車 両 数 130両



一般乗合バス (103両)



一般貸切バス (21両)



ジャンボハイヤー



介護事業



学童保育·教育事業



便利事業



飲食事業

(2) 事業規模等



広尾

- * 十勝管内15市町村をカバー
- * 年間470万km走行

(1) 交通業界は100年に一度の大変革時代

「原則」に敵った「真のMaaS」を実装しなければ

このままでは交通は衰退 このままでは地方は消滅

複数の交通事業者が繋がらなければ





- 1. アナログ重視の「真のMaaS」
- (2)「お客さま目線」を基本にした原則の徹底
 - ・ITやAIの時代だからこそ、アナログの強みを

「お客さま目線」こそアナログ

しつかりとした「アナログ」が無ければas 「デジタル」は機能しない

アナログとデジタルの融合

(3) 「お客さま目線」を基本にした原則の徹底

路線バス沿線の 住民宅に戸別訪問

どうして、バスに 乗って頂けないの ですか?

直接のヒアリングにより お客さまの生の声を聞き ニーズの本質を探る



1. アナログ重視の「真のMaaS」 (4) 『不安』の解消と『目的地』の提案



(5) 目的提案:日帰り路線バスパック

路線上の施設+路線バス お互いの強みを 組合せた企画商品

観光交通と生活交通の 一体化により 生活交通を支える

利用者数の推移 2010年度:2,100名 2012年度:3,200名 2014年度:4,600名 2016年度:5,400名 2017年度:6,500名 2019年度:7,000名



(6) 社員の誇りが輝きとなって!

笑顔=「アナログ」

笑顔あふれる接客

いつもありがとう

笑顔あふれる 接客サービス



3.「十勝MaaS」の実現のために

(1) 二次交通充足地域の創造!



十勝圈二次交通活性化推進協議会 設立総会 2013年3月28日開催

十勝毎日新聞 2013年7月30日掲載



3. 「十勝MaaS」の実現のために

(2)十勝が繋がる



目的提案: 「生活コンテンツ」 をメインに

交通モードのみならず 十勝らしい「食」「農」や「商業」、 そして、「医療」「ヘルスケア」 と繋がることが重要!

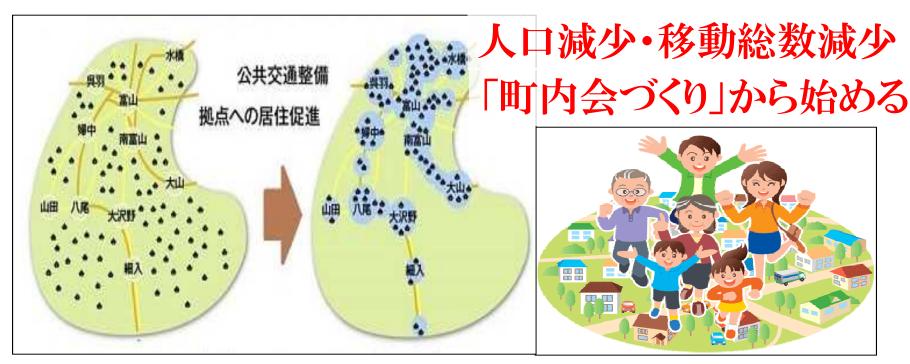
生活MaaS×観光MaaS



4. アフターコロナに 「今向かう未来」

4. アフターコロナに「今向かう未来」 (1) セグメント×深掘り = [ミクロ戦略]

- * ① マイクロ「コンパクト+ネットワーク」で街づくり!
 - ・市民にとっての最善の生活環境を整備する



4. アフターコロナに「今向かう未来」 (1) セグメント×深掘り = 「ミクロ戦略」

- * ① マイクロ「コンパクト+ネットワーク」で街づくり!
 - ・市民にとっての最善の生活環境を整備する

全ての生活サービスを集中投入少



4. アフターコロナに「今向かう未来」 (2) 「街づくり」で

地方の経済を活性化

- *「転入」「移住」促進で地方の経済活性化
 - ・住環境を生活サービスの集中投入により整える



街づくりの フィールドを 大空団地に

現状

- 帯広エリアでは希少な人口増加地域(人口約4,300人)
- ◆ 来年度より大空中学校と小学校が合併、市立の小中一貫校化
- ◆ 大空小学校跡は地域活性化に資する活用方法が検討されており、利便性施設用地及び宅地として活用する方向で検討中
- ◆ 団地周辺地域の利便性は徐々に改善する一方、団地内の利便性は早急に改善の必要あり(現時点で日常生活を支える商業施設の大半が撤退、小型店舗が店舗のみ営業中)

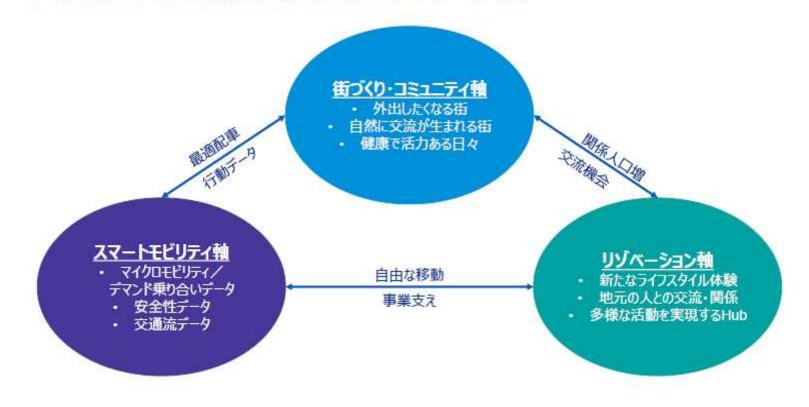
特徵

	環境·条件	樹づくり・モビリティの可能性
構造	・外周を囲われた独立街区で通過交通がな い	通常公道では困難な自動運転などの実証がやりやすい
インフラ	 道路幅が十分広く。歩車分離が徹底 	低速専用レーン、一方通行化などの実証がやりやすい
体制	・高いコミュニティ意識。若年層の人口増加	新たな取組に対する合意が取りやすい



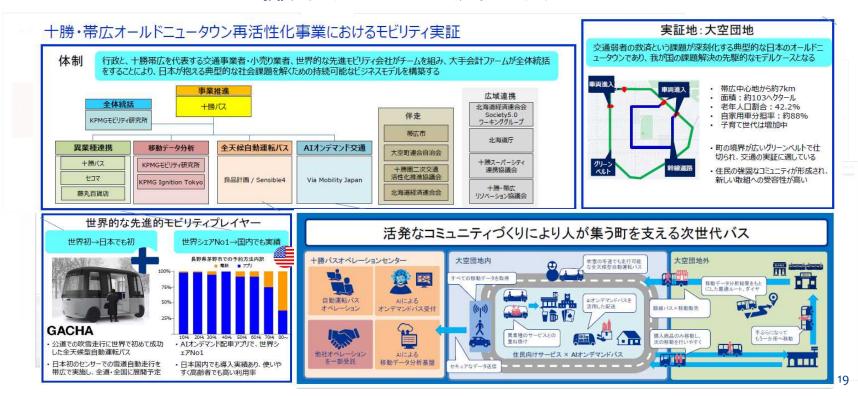
新たな挑戦豊かな地域づくり

大空団地における取組の3つの軸



- *マスコミやメディアで取りあげられ始める
- *様々なステークホルダーが動き始めた

大手企業と「協創」で連携し始める!



4. アフターコロナに「今向かう未来」

(3) 小さな流れが、次第に速く大きく

オンデマンド交通始動(アナログからデジタル化へ)

誰もが安心して移動できるようにいつでも行きたい場 所に行けるオンデマンド相乗りサービス

電話予約からアプリで予約が可能に

AIを使って最適なルートが選択

運行エリア拡大準備中





- * 様々なステークホルダーが動き始めた
 - ・さらに、生活サービスを集中投入!



宅配事業キリン便

飲食事業にくや大空 × コミュニティカフェ





*マルシェバス経産省MaaS創出推進事業に採択

* 帯広市×KPMG×道経連×二次交通協議会など 11企業・団体と連携 マルシェバスがコミュニティの場に



4. アフターコロナに「今向かう未来」

(3) 小さな流れが、次第に速く大きく

大空住民とのコミュニティが創造され始めた

十勝バスは新しいスタイルの地域密着・コミュニティづくりから地域交通を守り、人々の生活を豊かにし、活性化した全国の地方都市を創造します



かちばすカフェ おおぞら みんなの町の コミュニティスペース



ご利用時間

月~金曜日 10:00 ▶ 15:00



十勝バスが考える真の生活MaaS

ご清聴、ありがとうございました

十勝バス株式会社 事業本部長 長沢 敏彦